

2. 避難者の受け入れ

リーダーカード

役割	避難者の受け入れに必要な活動を行うチーム長を指名し、作業を指示します。
注意点	状況に応じてリーダーを変更したり、必要な対応ごとにチーム長を設ける等、徐々に組織だった活動への移行も進めていきます。

チェック



1

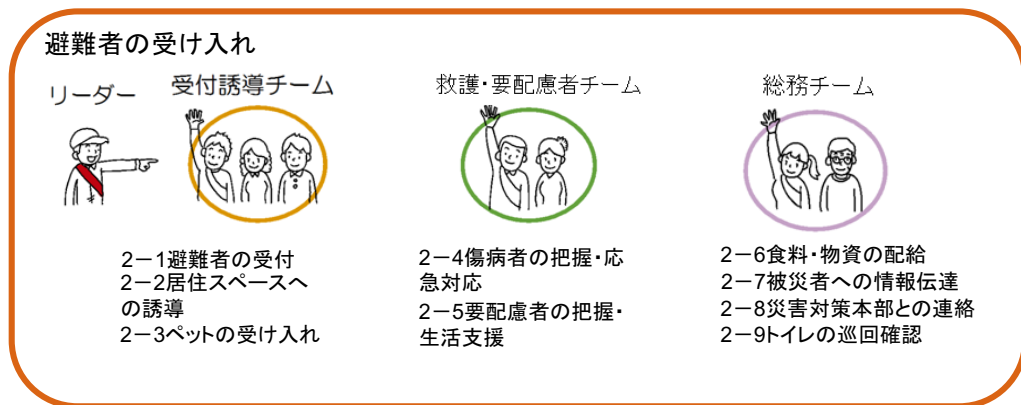
リーダーは、①受付誘導チーム、②救護・要配慮者チーム、③総務チームのチーム長を指名します。

チェック



2

作業にあたる人員を確保し、各チームにそれぞれの作業を指示します。確保したらまず、人員の中に体調不良者がいないか確認を行い、検温、マスクの着用、手指の消毒を行います。



チェック



3

全体の状況を見て、避難所運営委員会を設置し、活動班を中心とした組織だった運営に移行させます。

ポイント



●短時間で多くの作業ができるように

➤ 避難者に協力を求め、作業にあたる人員の確保を行います。

●それでも人員が足りない場合は

➤ 対応を待ってもらいます。

➤ 他のチームに応援を依頼します。

➤ 役員の参集状況に応じて、リーダーを変更することができます。チーム間の調整は、リーダーが全体の状況を判断しながら行います。

2-1

避難者の受付

受付誘導チーム



役割	支援のベースとなる避難者カードの作成への協力を呼びかけながら、避難者の受け入れを行います。
使うもの	<input type="checkbox"/> 避難者受付セット（避難者カード、避難者名簿、筆記用具、懐中電灯等） <input type="checkbox"/> 感染症対策セット（非接触型体温計、手指消毒液、マスク）
注意点	<input type="checkbox"/> 避難者カード、名簿等（閲覧用名簿を除く）は、非公開にしてください。 <input type="checkbox"/> 受付設置チームの方は、必ずマスクを着用して対応するようにしましょう。

チェック



1

マスクを持参してない方にマスクを配布し、着用を呼びかけます。受付にて、避難者の検温、手指の消毒を実施します。

発熱なし

発熱あり

チェック



2

「避難者名簿」を記載してもらい、「避難者カード」を1人1枚配布します。

介良児童館2階の体調不良者用スペースに移動するように案内します。

車での避難者だった場合は車両誘導係が対応

1

受付チームの中から車両誘導係を選抜します。車両誘導係は車両入り口駐車スペースに待機します。

2

車両誘導係に車避難者を誘導します。

3

車を駐車スペースに誘導後、車避難者受付で車避難者名簿に記入してもらいます。

「避難者カード」の整理番号で配付数をカウントし、避難者の概数を常に把握するようにします。

記入済みの「避難者カード」の回収は、誘導係が行います。

チェック



3

誘導係が回収した「避難者カード」を受け取り、「避難者名簿」と確認をします。

車避難者名簿

避難所：介良市民会館・介良児童館

No.	避難者カード 整理番号	避難者名	車両番号	車種・色	備考
1	16	東洋聖陽	57-29	マツダ CX-5・黒	
2	26	越知美紀	22-10	ホンダ N-BOX・白	
3	34	北川崇史	11-88	日産 セレナ・白	
4	55	春野 恵	03-30	スズキ ワゴンR・黒	
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

太枠内を受付で記入してもらおう(その他は後に避難者カードから転記)

避難所：介良市民会館・介良児童館

避難者名簿

避難者 カード 整理 番号	世帯主 世帯主の 整理番号	氏名	住所	年齢	性別	体調管理		食事 希望 有無	医療 配慮 有無	その他	居住 スペース	退所日
						体温	症状					
1	0	高知 太郎	高知市丸ノ内1-2	56	男・女	36.0度	<input type="checkbox"/> 咳 <input type="checkbox"/> 嘔吐 <input type="checkbox"/> 下痢 <input type="checkbox"/> その他 ()	0	0	そばアレルギー	1	9月3日
1					男・女		<input type="checkbox"/> 咳 <input type="checkbox"/> 嘔吐 <input type="checkbox"/> 下痢 <input type="checkbox"/> その他 ()					
2					男・女		<input type="checkbox"/> 咳 <input type="checkbox"/> 嘔吐 <input type="checkbox"/> 下痢 <input type="checkbox"/> その他 ()					
3					男・女		<input type="checkbox"/> 咳 <input type="checkbox"/> 嘔吐 <input type="checkbox"/> 下痢 <input type="checkbox"/> その他 ()					
4					男・女		<input type="checkbox"/> 咳 <input type="checkbox"/> 嘔吐 <input type="checkbox"/> 下痢 <input type="checkbox"/> その他 ()					
5					男・女		<input type="checkbox"/> 咳 <input type="checkbox"/> 嘔吐 <input type="checkbox"/> 下痢 <input type="checkbox"/> その他 ()					

食事希望者：計(名) → ← 医療配慮者：計(名)

2-3

ペットの受け入れ

受付誘導チーム



役割

ペットの受け入れを行います。

使うもの

- ペット受け入れセット（「ペット飼育者名簿、筆記用具等」）
- 椅子×3

注意点

- ペットスペースは、鳴き声や臭いに配慮して設置します。

チェック



1 介良市民会館駐車場にペットスペースを設置します。

チェック



2 受付（介良市民会館の玄関ホール）の係と、ペットスペースの係とに分かれて待機します。待機場所に椅子を用意します。

チェック



3 受付（介良市民会館の玄関ホール）の係はペットを連れた避難者を把握し、ペットスペースへ誘導します。

チェック



4 ペットスペースの係は、誘導された避難者に「ペット飼育者名簿」への記入をお願いし（避難者カード整理番号を除く）、記入後にペットを受け入れます。

チェック



5 ペットスペースの係は、ペットの手続きが終わった避難者に受付へ行くよう案内します。
（居住スペースに案内された後に、ペットチームに避難者カード整理番号を知らせてくれるように伝えます。）

ペット飼育者名簿

避難所名 介良市民会館・介良児童館

No	避難者カード 整理番号	避難者名	種類	性別	特徴	予防接種等	飼育場所
例	5	高知 太郎	犬 (土佐犬)	♂ メス	体格：中型 毛色：白 特徴：赤い首輪	避妊・去勢：済・未 ※犬の場合 登録：済・未 狂犬病：済・未 その他：	運動場の ペットスペース
1				オス メス	体格： 毛色： 特徴：	避妊・去勢：済・未 ※犬の場合 登録：済・未 狂犬病：済・未 その他：	
2				オス メス	体格： 毛色： 特徴：	避妊・去勢：済・未 ※犬の場合 登録：済・未 狂犬病：済・未 その他：	
3				オス メス	体格： 毛色： 特徴：	避妊・去勢：済・未 ※犬の場合 登録：済・未 狂犬病：済・未 その他：	
4				オス メス	体格： 毛色： 特徴：	避妊・去勢：済・未 ※犬の場合 登録：済・未 狂犬病：済・未 その他：	
5				オス メス	体格： 毛色： 特徴：	避妊・去勢：済・未 ※犬の場合 登録：済・未 狂犬病：済・未 その他：	



2-4

傷病者の把握・応急対応 (救護)

役割	収容した避難者が、傷病者となった場合の対応を行います。
使うもの	<input type="checkbox"/> 救急セット(包帯、ガーゼ、体温計等)
注意点	<input type="checkbox"/> 情報の管理に十分配慮します。 <input type="checkbox"/> 感染症防止のために、マスク着用、手洗い、うがいを励行します。

チェック



1

収容した避難者が応急対応が必要な状態になっていないか、常に状況を把握します。



チェック



2

応急対応が必要となった避難者が発生した場合は、ただちに総務チームを通じ、災害対策本部へ緊急搬送などの要請をします。

ポイント



●避難者の中に医療関係者がいないか呼びかけます

➤ 避難者の中に医師や看護師等の有資格者や、専門的な知識や技能を持った方がいないか呼びかけ、いれば応急手当への協力をお願いし、緊急の医療体制をつくります。

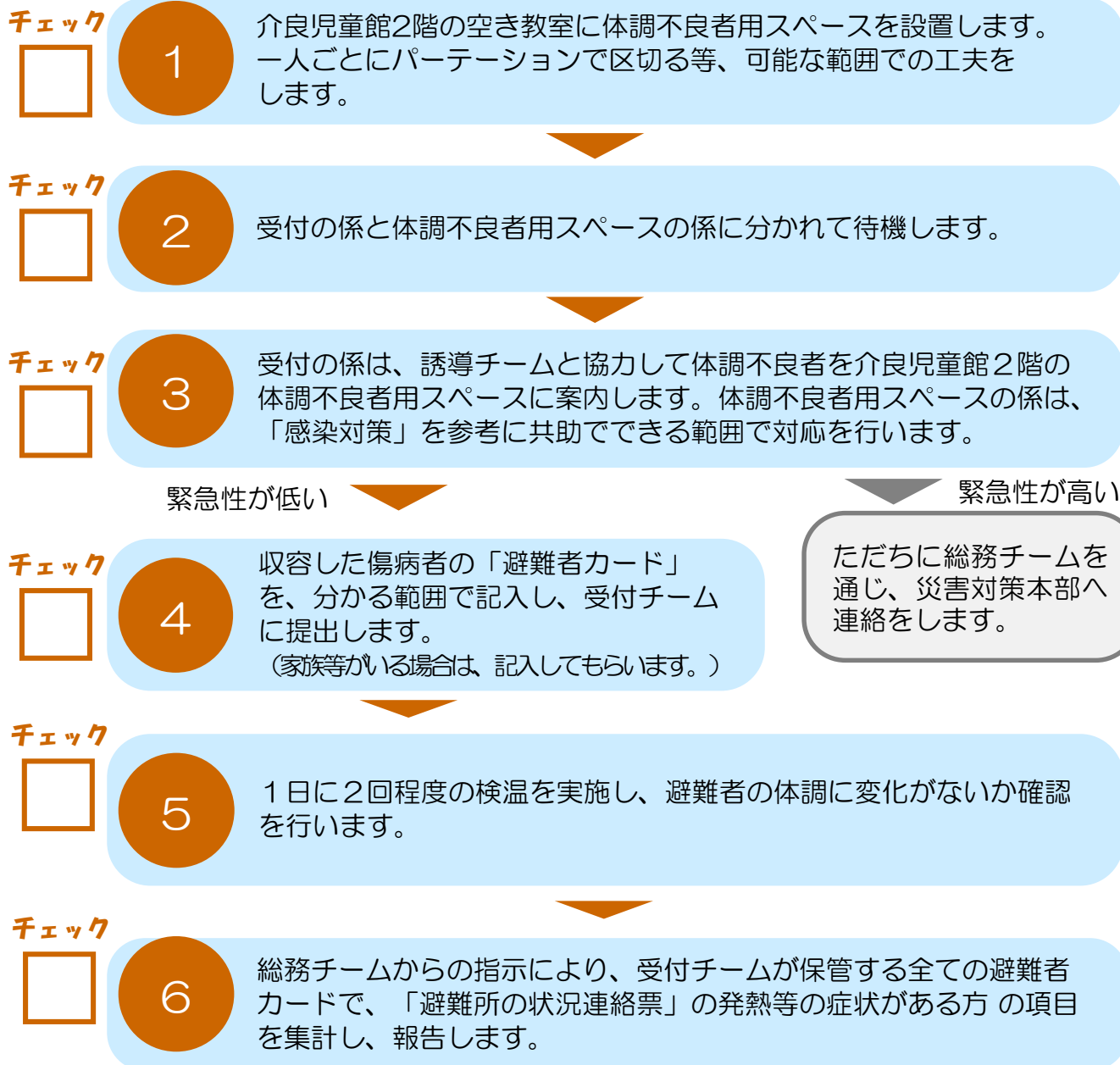
2-4

傷病者の把握・応急対応 (感染対策)

救護・要配慮者チーム



役割	救護室の設置、傷病者の把握、緊急搬送の要請を行います。
使うもの	<input type="checkbox"/> 感染症対策セット（非接触型体温計・手指消毒液・マスク） <input type="checkbox"/> 医療を必要とする方への対応
注意点	<input type="checkbox"/> 情報の管理に十分配慮します。 <input type="checkbox"/> 感染症防止のために、マスク着用、手洗い、うがいを励行します。



感染症の防止対策

感染対策のために、マスク着用、手洗い、うがいを励行します。

●手指消毒液は、以下の場所に必要です

- 隔離区域の中あるいはすぐ外
- 出入り口
- トイレ
- 炊き出しや食事のスペース その他（避難所内の必要箇所）

トイレのドアノブ・トイレや部屋の照明スイッチ・通路や階段の手すり・水道の蛇口等、避難者が多く振れる箇所については定期的に消毒を行いましょ。

手指衛生のタイミング

水がない場合には、
手指消毒用アルコール製剤で手を清潔にしよう！

手洗い・アルコール消毒するタイミング

1. 食事前
2. 未調理の食材に触れたあと。特に、生肉・鶏肉・魚
※食品を取り扱う者は、取扱い前に石鹸と水で手を洗う。また、
トイレや休憩から戻ったときにも手を洗う。食品取扱者は、擦式
消毒用アルコール製剤を石鹸と水による手洗いの代用とはしない。
3. トイレに行った後
4. オムツを替えた後や、トイレ後のこどものおしりを拭いた後
5. 病人の世話の前後
6. 創傷の手当ての前後
7. 鼻をかんだ後、咳やくしゃみをした後
8. 動物や動物ごみ（糞や抜け毛など）を取り扱った後
9. ごみを取り扱った後

CDCの「災害避難所における感染制御ガイダンス」
避難所における感染対策マニュアル 2011年3月24日版より



感染対策

避難場所等での感染対策の実際

避難場所等で注意しなければならない主な感染症

	新型コロナウイルス	感染性胃腸炎	季節性インフルエンザ
感染源	新型コロナウイルス (SARS-CoV2)	ノロウイルス、ロタウイルス、アデノウイルス等	インフルエンザウイルス (A型、B型)
症状	発熱・咳・のどの痛み・倦怠感・味覚異常など	発熱・嘔吐・下痢	突然の高熱が3～4日間続き、全身症状(頭痛・関節痛・筋肉痛等)と呼吸器症状を伴う。普通の風邪より症状が激しいことが特徴
感染経路	飛沫感染、接触感染	感染者からの糞口感染、接触感染、食品媒介感染	飛沫感染・接触感染
感染期間	症状出現の1日前～	症状のある時期	症状のある期間(発症前24時間から発病後3日程度が最も強い。)
潜伏期間	2～14日	ロタウイルス 1～3日 ノロウイルス 12～48時間後	1～4日(平均2日)

① 飛沫(ひまつ)感染対策

常にマスクを着用し、咳エチケットを守りましょう。

感染している人が咳やくしゃみ、会話をしたときに、口から飛ぶ水滴(飛沫)に包まれた病原体を、近くにいる人が吸い込むことによって感染する。

飛沫が飛び散る範囲は1～2m

飛沫感染するものは接触感染も起こりえる。



マスク着用のポイント

- ▶一度付けたら首から上(特に目・鼻・口)は触らないように気をつける。
- ▶マスクを一時的に外した時に、共用のテーブルなどには置かない。きれいな袋に入れておくなどする。

マスクがない時



せきやくしゃみをする時、マスクやティッシュで口や鼻を覆う。ティッシュはすぐ捨てる。とっさの時は袖で覆う。汚れた手は必ず手洗いすること。

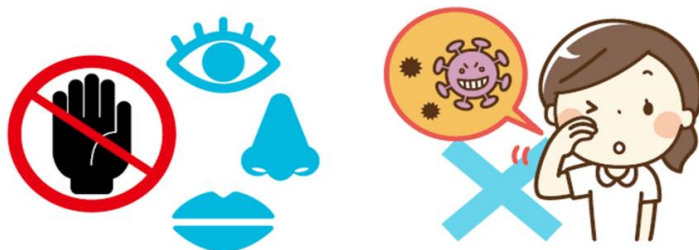
感染対策

② 接触感染対策

基本は手洗いです。

感染源である人と触れることによって伝播する直接接触感染（握手・だっこ等）と汚染されたものを介して伝播する間接触感染（ドアノブ、手すり等）がある。ただし、正常な皮膚が接触することで感染することはほとんどまれで、通常は粘膜と粘膜、又は皮膚についた病原体が、目や口、鼻等の粘膜に触れるか、又は飲み込むことで感染する。

ウイルスは粘膜を通じて侵入します。手洗い・アルコール消毒の前は、首から上を触らないよう十分に注意しましょう。



共有のものに触れる前後には、手洗い・アルコール消毒をしましょう

アルコール消毒の置き場所

- ▶ 受付
- ▶ 各部屋またはブロックの出入口
- ▶ 階段の上り口
- ▶ トイレの出入り口
- ▶ 食堂、コミュニケーションスペース
- ▶ 充電ステーション
- ▶ ゴミ箱周辺



感染対策



断水の上、石鹸とアルコール消毒液もない！どうやって手を洗う？

手についたウイルスを少しでも減らすために、ウェットティッシュや除菌シートで拭きましよう。それが無ければ、ペットボトルの飲料水を含ませたティッシュで拭くのも効果的です。また、おにぎりやパンを食べる時などは、中身に直接触れるのを避け、包装袋だけを持ちたり、ラップやきれいなポリ袋等に包んで食べるなど工夫しましょう。



手洗い・アルコール消毒のタイミング

- ▶ マスク着脱の前後
 - ※汚れた手で顔を触ると感染リスクが高まるため
- ▶ 傷口に触れる前後（使い捨て手袋着用）
 - ※使い捨て手袋が破れた場合感染リスクが高まるため
- ▶ 顔や口に触れる前後
- ▶ トイレの前後
- ▶ 掃除の前後
- ▶ ドアノブ、机、スイッチ、テーブル、椅子、パソコン、タブレットなどの共用部分に触れる前後
- ▶ 食事準備の前
- ▶ 飲食の前
- ▶ 吐物・排泄物など、体から出てきた物を片付けた後（使い捨て手袋着用）
- ▶ 鼻汁や痰に直接接触した、または汚れのついたティッシュに触れた後
- ▶ 汚れた衣類や寝具等に触れた後
- ▶ 使い捨て手袋を脱いだ後

*見た目で手が汚れていると思った時は手洗いや拭き取りをしましょう



アルコール消毒で手が荒れた！どうすればいい？

夜寝る前にハンドクリームをつけるなど心がけましょう。あまりにひどい状態で、掃除や配膳などの作業をする時は、使い捨て手袋をつけて荒れた手を保護し、その上からこまめにアルコール消毒すると良いでしょう。使い捨て手袋がない場合は、食事の前に手洗いのみを行い、共用の場所を触らないようにしましょう。



注意しましょう！

消毒液の誤飲について

海外を含め、アルコール消毒液または、ペットボトルに移した次亜塩素酸ナトリウム（ハイターやブリーチなど）等の消毒液の誤飲による事故が多発しています。多くは、子どもが飲んでしまったケースですが、認知症の方や日本語のわからない外国人、知的障がいのある方なども高いリスクがあります。一目見てわかるようにラベルを貼ったり、次亜塩素酸ナトリウムは、子どもの手の届かないところに置くなどの配慮が必要です。

感染対策

③ 環境清掃

身の回りの整理整頓、掃除に努めて、清潔を保ちましょう。

効果的な掃除の方法

- ▶ 掃除の前後には必ず手洗い・アルコール消毒をする。
- ▶ 居住スペースは1日1回、次亜塩素酸に浸したペーパータオルで拭き掃除する。
- ▶ 拭き掃除は、汚れの少ないところから多いところへ方向に拭き、ウイルスを広げないように注意する。



コラム

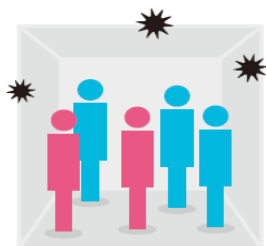


次亜塩素酸や除菌スプレーがない時はどうすればいい？

500mlのペットボトルの水に、ペットボトルキャップ10分の1程度の台所用合成洗剤を加えて混ぜ、液を浸したペーパータオルで拭きましょう。ぬめりが気になる場合は、乾いたペーパータオルで2度拭きするとよいでしょう。それもない場合は、ペーパータオルを飲料水で濡らして、汚れをこそぎ落とすように拭きましょう。

④ 適切な環境

3密(密閉・密集・密接)を避けましょう。

換気の悪い
密閉空間手の届く範囲に多くの人がいる
密集場所お互いの距離は **2m** 以上あける近距離での会話や発声をする
密接場面

換気の時間や回数を目安

- ▶ スペースの前後左右の扉や窓を開けて、空気が通るようにする。
- ▶ 窓を開け、窓の方向に扇風機やサーキュレーターを向け空気を循環させる。
- ▶ 1時間に1回、10分程度など時間を決めて行う。



感染対策

主な感染症に有効な消毒剤

病名	ウイルス	消毒剤	使用方法	備考
新型コロナウイルス	新型コロナウイルス (SARS-CoV2)	・70%エタノール ・0.05%次亜塩素酸ナトリウム液	・次亜塩素酸ナトリウムを主成分とする製品を希釈する。 (希釈方法は「新型コロナウイルス対策 身のまわりを清潔にしよう」を検索)	・次亜塩素酸ナトリウム液の噴霧は、人体に悪影響なので行わない。・台所用洗剤も効果があるものがある。
感染性胃腸炎	ノロウイルス、ロタウイルス、アデノウイルス等	・0.1%次亜塩素酸ナトリウム液(吐物・排泄物) 0.02%次亜塩素酸ナトリウム液(環境面)	・次亜塩素酸ナトリウムを主成分とする製品を希釈する。	・次亜塩素酸ナトリウム液の噴霧は、人体に悪影響なので行わないでください。
季節性インフルエンザ	インフルエンザウイルス(A型、B型)	・70%エタノール		

【注意！】

- ① 感染症によって有効な消毒剤は違います。
有効な消毒剤を使わないと感染拡大防止にはなりません。
- ② 手洗いには、次亜塩素酸ナトリウムは使用できません。(皮膚が溶けるため。)

環境清掃に使用する消毒剤

食器・手すり・ドアノブなど身近なものの消毒には、アルコールよりも、熱水や次亜塩素酸ナトリウムが有効です。食器や箸などは、80℃以上の熱水に10分間さらしても消毒ができます。



次亜塩素酸ナトリウムってなに？

次亜塩素酸ナトリウムは、塩素系漂白剤ともいい、ハイターや、キッチンブリーチなどの名称で市販されています。いろいろなウイルスや細菌などに消毒効果があります。

- ・ドアノブ、床、調理用具などを消毒する時：次亜塩素酸ナトリウム濃度0.05%
※500mlの水に対して、ペットボトルのキャップ1杯分の次亜塩素酸ナトリウムを入れる
- ・吐物や便を処理する時：次亜塩素酸ナトリウム濃度0.1%
※500mlの水に対して、ペットボトルのキャップ2杯分の次亜塩素酸ナトリウムを入れる



ペットボトルキャップ
1杯の目安は5mlです。

注意しましょう！

次亜塩素酸ナトリウムの有毒ガス発生について

次亜塩素酸ナトリウムは手荒れを起こしやすいため、使うときには手袋をしましょう。濃度が濃い次亜塩素酸ナトリウムは、塩素ガスが発生するため換気をしながら使いましょう。また、「混ぜるな危険」と言われるように、トイレ用洗剤、食酢、アルコール製剤などで酸性タイプのもものと混ぜると、有毒な塩素ガスが大量に発生するため注意が必要です。

次亜塩素酸水は次亜塩素酸ナトリウムとは別物ですので混同しないよう気をつけましょう。

感染対策

発熱など体調不良の方の滞在スペース巡回時の留意点

- ・発熱など体調不良者用スペースの部屋の巡回をする場合は、基本は部屋に入らず、必要時は2m以上の間隔をとって声かけ等の対応をしましょう。
- ・介助等が必要で生活区域に入る場合は、必要に応じて、手袋・サージカルマスクを使用し、退室後の手洗い・手指消毒を徹底しましょう。
- ・食事の提供が必要な場合は、避難所スタッフが各部屋の前に届けましょう。
- ・感染症の疑いのある方が利用するトイレや洗面所の消毒を行う場合には、手袋・サージカルマスクを着用し、「ドアの取手やノブ、トイレや洗面所、その他共有部分」を①または②の方法で消毒しましょう。
 - ①70%アルコール消毒液(噴霧可○)を噴霧したあとペーパータオルで拭く。
あるいは、70%アルコール消毒液を浸したペーパータオルで拭く。
 - ②0.05%の次亜塩素酸ナトリウム(噴霧不可×)を浸したペーパータオルで拭く。

「緊急性が高い」症状の例

以下の症状がある方については「緊急性が高い」と判断し、総務チームを通じ、災害対策本部へ連絡をしましょう。

- ①咳が強く、呼吸が苦しくて眠れない・横になれない（息が苦しそう）
- ②うとうと眠っていて、起しても起きない（意識がおかしい）
- ③初めてのけいれん、5分以上の長いけいれん、繰り返すけいれん
- ④強い痛み（腹痛・頭痛・体の痛み）
- ⑤いつもと違う、ぐったりしている 等

保健師等と連携した健康維持の活動

- ・エコノミークラス症候群予防、生活不活発病予防、熱中症予防、口腔衛生管理、アレルギー疾患の悪化予防、こころの健康保持、妊産婦さんや産後間もないお母さんと乳幼児への留意点、子どもに対する留意点、高齢者に対する留意点、慢性疾患の方々に対する留意点など、高知市の保健チームの巡回がある場合には相談してください。



2-5

要配慮者の把握・生活支援

役割	収容した避難者が、要配慮者となった場合の対応を行います。
使うもの	<input type="checkbox"/> 避難者名簿
注意点	<input type="checkbox"/> 要配慮者は、状況次第では特別な対応が必要になることもあります。そのため、重篤な事態になる前に対応できる態勢が必要です。

チェック



1

収容した避難者が配慮が必要な状況になっていないか、常に状況を把握します。



チェック



2

共助でできる範囲で、要配慮者生活支援・介護を行います。



チェック



3

共助で対応できない場合には、災害対策本部へ専門家などにより支援要請を依頼します。

ポイント



●有資格者などがいないか呼びかけを行います

▶ ホームヘルパー等有資格者やボランティア経験者が避難者の中にいないか呼びかけ、要配慮者支援への協力をお願いします。

2-6

食料・物資の配給

総務チーム



役割	食料・飲水や物資の配給を行います。
使うもの	<input type="checkbox"/> 備蓄品リスト <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> 手指消毒液
注意点	<input type="checkbox"/> 食料や物資などは、配給方法等を決め、避難者に周知を行ってから配給を行うようにしてください。

チェック



1 「避難者カード」の情報から配給人数を確認します。



チェック



2 配給方法、品目と数量等を決定します。



チェック



3 決定した配給方法、品目、時刻、配給場所等を情報掲示板で周知します。



チェック



4 毛布や食料、水等を避難者に配給します。
配給するときには手洗い又は手指消毒をし、マスクを着用します。

ポイント



●避難者に対して協力を呼びかける

- 配給品はかなりの量になることが考えられます。運営を円滑にするために、避難者にも配給、運搬の協力をお願いします。
- 配給時、避難者が並んで密にならないように工夫をします。
- 配給前後には机の消毒を行うようにしましょう。



2-7

被災者への情報伝達

役割	避難者および地域の在宅被災者への情報伝達を行います。
使うもの	□ 情報伝達セット(ホワイトボード、紙、マーカー等)
注意点	□ 掲示板による情報伝達を基本として、確実に公平な情報伝達に努めます。

チェック



1 事前に決定した情報掲示板設置場所に、掲示板が設置可能か確認します。

設置できる場合

設置できない場合

チェック



2 掲示板を設けます。

2 他の設置可能な場所に設けます。既存の掲示板が利用できる場合、活用します。

チェック



3 A4版用紙または大判の模造紙に、掲示したい情報を書き込みます。掲示の際は、項目別に掲示板を分けします。

チェック



4 掲示を行ったことを拡声器等で周知します。



ポイント

●状況に応じて個別の配慮を

- 耳の聞こえにくい方は、見た目でもわかりにくく、配慮が行き届かなかったことも報告されています。このような場合は、個別の対応や配慮が必要です。

情報揭示の例

【地域の全ての被災者へ伝達する情報の場合】

基本伝達方法：①屋外の目立つ場所「情報掲示板」と居住スペース内の「情報掲示板」

②拡声器などによる音声伝達

③地域へのビラ 他

閲覧用名簿

〇〇地区	△△太郎
〇〇地区	〇〇花子
〇〇地区	△〇一郎
△△地区	△△二郎
△△地区	〇△春樹
△△地区	■●隆史
△△地区	△■里奈
××地区	〇△恵子
××地区	△□晋也
××地区	◇◇佳乃

配給・配付時間

●食料配給時間は
朝8時頃、
昼12時頃、夜18時頃

●物資などは、食料・物資班
が下記にて配付しています。

原則

時間：毎日〇〇時頃
場所：〇〇広場にて

秩序を守って、食料・物資班の指
示に従って受け取ってください。

【避難所内で生活する避難者へ伝達する情報の場合】

基本伝達方法：①居住スペース内の「伝言板」

②拡声器などによる音声伝達

<避難所全体のルール>

- 避難所は、避難所運営委員会及び避難者が主体となって運営します。
- 避難所の開設期間は、水道・ガス・電気などのライフラインが復旧する時までを目途とします。
- 居住スペースは「**上定禁止**」とし、脱いだ靴は各自で保管します。
- 居住スペースは、一定時間置いてきた時点で**自衛**を行います。
- 収容人員を超える場合は、地区内の住民を優先とします。
- 集いの拠点から定期的に生活場所を移動し清掃を行います。ご協力ください。
- 被災により危険が生じた部屋は使用できません。「**立ち禁止**」「**使用禁止**」「**利用上の注意**」等の張り紙の内容には必ず従ってください。
- 入浴、洗濯・食糧などの巡回相談、各種情報提供のための相談窓口といった生活サポートは、提供できるようにすれば表示指示などでご案内します。
- 食料・物資回線、原則、登録いただいた名簿に基づき、避難者だけでなく必要とする地域の全ての被災者の方に提供されます。
- 施設内全面禁煙**なので、喫煙は敷地外の喫煙場所をお願いします。
- 大規模な余震により、津波や建物使用禁止の恐れがある場合は、再避難を要されます。その場合は必ず避難所運営委員会からの指示に従ってください。

<避難所生活のルール>

【生活時間について】

- 起床時間 **6時30分**、消灯時間 **21時30分**（原則）
- ※体育館などの照明は強としますが、防犯上、廊下は点灯したままとします。また、夜間は正面玄関の施錠を行います。

- テレビ利用時間 **6時30分～21時**

- 電話利用時間 **6時30分～21時**

※電話が入った場合の即時の取り次ぎは原則行いません。掲示板への張り紙で電話があった旨をお伝えしますので、締切まで伝言メモを受け取りに来てください。

【洗濯について】

- 洗濯は原則として、世帯単位で行ってください。

- 洗濯機や物干し場など、避難者全員で使用するものについては、各人の良識に基づいて使用し、長時間の占用を避け、他人の迷惑にならないようにしてください。

【ゴミ処理について】

- 世帯ごとに発生したゴミは、原則として、それぞれの世帯が共有のゴミ捨て場へ投入します。

- 共同作業で発生したゴミは、その作業を担当した人たちが責任を持って捨てます。

- ゴミの分別を行ってください。

【プライバシーの保護について】

- 居住スペース及び世帯スペースは、一般の「家」同様、みだりに立ち入ったりのぞいたりしないようにします。

- 居室内での個人のテレビやラジオなどの視聴は、周囲の迷惑とならないようにしてください。視聴する場合は、イヤホンを使用してください。

- 携帯電話は居住スペース内ではマナーモードにし、特に夜間は居室内では使用しないでください。

配給・配付時間

●食料配給時間は
朝8時頃、
昼12時頃、夜18時頃

●物資などは、食料・物資班
が下記にて配付しています。

原則

時間：毎日〇〇時頃
場所：〇〇広場にて

秩序を守って、食料・物資班の指
示に従って受け取ってください。

感染対策（周知チラシ）



感染症対策へのご協力をお願いします

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

①手洗い

正しい手の洗い方

手洗いの前に
・爪は短く切っておきましょう
・時計や指輪は外しておきましょう

1



流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。

2



手の甲をのばすようにこすります。

3



指先・爪の間を念入りにこすります。

4



指の間を洗います。

5



親指と手のひらをねじり洗いします。

6



手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

②咳エチケット

3つの咳エチケット

電車や職場、学校など人が集まるところでやろう



何もせずに咳やくしゃみをする

咳やくしゃみを手でおさえる



マスクを着用する（口・鼻を覆う）

ティッシュ・ハンカチで口・鼻を覆う

袖で口・鼻を覆う

正しいマスクの着用



1 鼻と口の両方を確実に覆う



2 ゴムひもを耳にかける



3 隙間がないよう鼻まで覆う

首相官邸 Prime Minister's Office of Japan

厚生労働省 Ministry of Health, Labour and Welfare

厚労省 検索





2-8

災害対策本部との連絡

役割	災害対策本部との連絡を行います。
使うもの	<input type="checkbox"/> 災害対策本部との通信手段の確保 <input type="checkbox"/> 避難所の状況連絡票
注意点	<input type="checkbox"/> 通信手段が途絶している場合は、連絡員が徒歩や自転車で災害対策本部もしくは最寄の避難所に向かいます。 この場合は、連絡員の安全確保を最優先とします。

●第1報からしばらくの間の報告（時間目安：発災後24時間ごろまで）

チェック



1

通信手段を確保したら、避難所の状況連絡票を使って第1報からしばらくの間の報告を災害対策本部へ行います。
 ※まずは、避難者のおおよその人数や年齢構成、緊急搬送の必要がある傷病者の数、ライフラインなどの生活環境の状況や取り急ぎの要望のみを報告。

避難所運営に関する担当機関の連絡先

災害対策本部	高知市役所	TEL：088-822-8111（代表）
--------	-------	----------------------

●リーダーの活動を補佐

チェック



1

各チームの作業の進行状況を把握します。



チェック



2

定期的にリーダーに状況報告を行います。



チェック



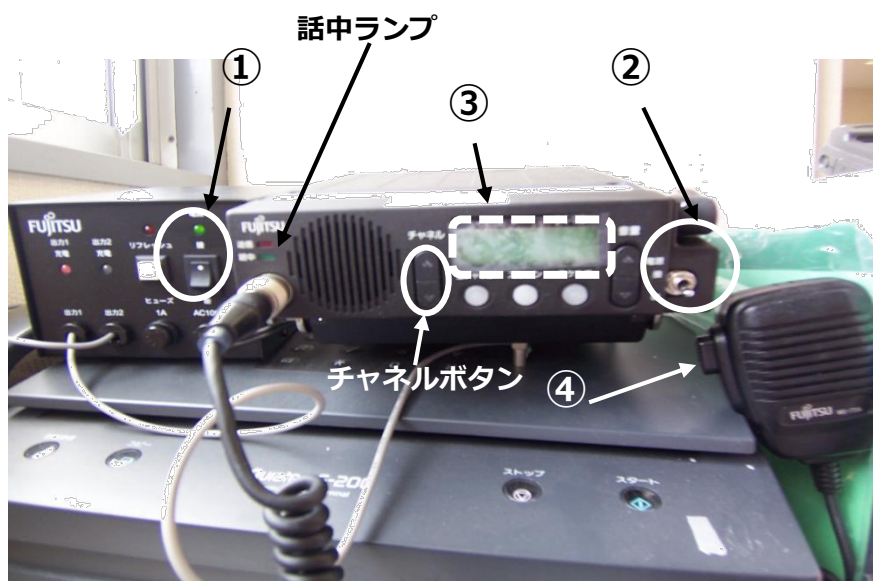
3

リーダーの指示事項を各チームに伝達します。

災害対策本部との通信手段の確保

1 介良市民会館 1 階事務室の防災無線により本部に連絡します。

- ① バッテリー電源を一度、「断」（下げる）にして、再度「接」（上げる）にする。
- ② 電源スイッチを「接」にする
※この段階で電源が入らない、入ってもすぐ切れる等の現象が起きた場合は一度電源OFF状態で10分程度待機して再起動する。
- ③ 「市波1」を確認
※市波2であれば表示部左の「チャンネル」で切り替える。
- ④ 通言中でないことを確認して「プレトークボタン」を押せばなして話す。



2 避難所を開設したことを災害対策本部へ報告します。

- 一波同報のため、すべての無線局で通信内容がわかるようになっています。個人情報など、通話内容への配慮が必要です。
- 「話中ランプ」（緑色）が点灯しているときはお通信しないでください。

避難所の状況連絡票

※ 報告経路 避難所 → 市町村（災害対策本部） → 市町村（健康福祉部署）

記入日： ○年 ○月 ○日 記入者： _____

避難所名： _____ 所在地： _____

避難所報告者： **南国 春男**

避難者数 (概数)	総数	総数 310 名 (男 150 名, 女 160 名) うち避難者(150 名), 在宅避難者(150 名), 帰宅困難者(10 名) 介助が必要な高齢者や障害者等 (30 名) 妊婦 (3 名) 乳児 ※1歳未満 (5 名) 幼児 ※1歳以上就学前 (25 名)	
	医療の必要な方 ※重複可	ケガをしている方 (10)名 小児科医療の必要な方 (1)名 人工透析の方 (0)名 産婦人科医療の必要な方 (1)名 酸素療法が必要な方 (0)名 精神科医療の必要な方 (2)名 発熱等の症状がある方 (0)名 その他医療の必要な方 (1)名 (内容: 虫歯が痛んでいる) 病院等への移送を必要とする方 計(5)名	
	ペット	犬 (7 匹) 猫 (15 匹) その他(5 匹) ※ハムスター	

生活環境	ライフライン	電気 使用可 ・ 使用不可 水道 使用可 ・ 使用不可 ガス 使用可 ・ 使用不可 電話 携帯: 使用可 ・ 使用不可 固定: 使用可 ・ 使用不可 (番号: 090-0000-000) (番号: _____)	
	生活	トイレ 4 ヶ所 (充足 ・ 不足) 洋式便器 (有 ・ 無) くみとり 水洗 (使用可 ・ 使用不可) 手洗い 3 ヶ所 (充足 ・ 不足) 食料 食料 (充足 ・ 不足) 飲み物 (充足 ・ 不足)	

要望	食料・飲み物	食料 (310 名分) 飲み物 (310 名分)	
	生活用品 (不足のものに○印)	トイレットペーパー 生理用ナプキン オムツ (大人用・赤ちゃん用) 毛布 暖房器具 タオル 衣服 (冬服)	
	依頼事項	燃料 尿尿処理 ゴミ処理	
	薬	かぜ薬 (50 名分) 頭痛薬 () 腹痛薬 () 高血圧 () 抗うつ薬 () その他 ()	
	その他	プロパンガスは地震時に非常停止しています。再開栓できれば、避難所内で調理ができるようになります。	

【受理確認日時】 年 月 日 時 分 【確認者氏名】

【受理確認方法】 避難所からの直持ち ・ 支援団体経由 ・ FAX ・ 電話等聞き取り ・ メール
 その他 ()



2-9

トイレの巡回確認

役割	トイレの状況確認を行い、衛生環境を保ちます。
使うもの	☐ トイレ応急対策セット
注意点	☐ 使用状況の確認を行い、必要であれば清掃も行います。清掃に協力してもらえる避難者の確保も行います。

チェック



1 「トイレの確保」を参考に応急対策を行ったトイレを巡回します。巡回とあわせて、避難所の中で協力してもらえる方を募ります。

チェック



2 トイレが問題なく使用されているかどうかを確認します。また、トイレ前で避難者が密集していないかの確認を行います。

チェック



3 定期的に換気し、掃除・消毒をこまめに実施して、衛生状態を保てるようにします。（1日3回以上の掃除・消毒を推奨）。



トイレの清掃・除菌すべき箇所

ポイント



●洋式トイレは、介助が必要な方を優先に

➢ 洋式トイレは、障害者など配慮が必要な方が優先して使用できるようにします。

●トイレのルールを決める

➢ トイレのルールを決めて衛生的に利用できるよう、周知を徹底します。